

進路だより

令和 7 年 9 月 1 6 日
京都市立東総合支援学校
進路指導担当
NO.3

9月に入っても暑い日が続いていますが、朝夕はようやく過ごしやすくなりました。今回の進路だよりでは、①就労移行支援事業所合同説明会、②進路につながる家庭生活と学校生活、③高等部・地域実践の取組について紹介します。

①就労移行支援事業所合同説明会が行われました

7月23日に「就労移行支援事業所合同説明会」が京都市勧業館みやこめっせにて開催されました。京都市内から20の事業所が集まり、各支援学校から高等部生徒・保護者の方や教職員の多数の参加がありました。各ブースにて熱心に説明を聞いて質問される場面も多く見られました。

今後の進路を考えるうえで、良い時間となればうれしいです。ご参加いただきました保護者のみなさまありがとうございました。



②進路につながる家庭生活と学校生活



前期後半に入り、高等部2年生は福祉事業所への見学が本格的に始まります。また、高等部3年生は卒業後の進路につながる実習がスタートしています。様々な事業所へ行くと「これはやってみたいな」とか、「これは難しそうだな」と思うことが見つかります。日頃の家庭生活や学校生活で培った力が発揮されるチャンスです。実習でうまくいなくても、家庭生活の場や学校生活の場に持ち帰り、繰り返し取り組んだり、必要な支援や環境づくりを考えていったりと様々な学びにつながります。作業や活動の内容だけでなく、自分で通えることも大切な力です。それぞれの実態に応じて、自力通所を目指す場合は見学へ行かれる際、ぜひ公共交通機関を利用し自宅からの経路を保護者も一緒に確認してみてください。見学や実習を機会に交通ルール、マナーや場面に応じた服装をするという学びになります。

児童生徒たちの自立や社会参加に向けて、家庭生活や学校生活以外の場で様々な経験をもつことは児童生徒自身が卒業後の人生を考えるうえで大切なことと考えています。保護者のみなさまには、見学・実習の振り返り等、ご協力していただくことが多々ありますが、見学や実習の経験から学んだことを自分の自信とし、将来「こんなことをしたい」「こんな生活を送りたい」と思えるように家庭生活と学校生活で取り組んでいきましょう。

高等部では地域の施設で、地域の人たちと関わりながら学習に取り組んでいます(地域実践)。
今回は月曜日に活動している「特別養護老人ホーム 山科苑」。火曜日に活動している「京都市大塚児童館」での活動を紹介します。

特別養護老人ホーム 山科苑

月曜日は『特別養護老人ホーム 山科苑』で活動しています。山科苑では、①窓の掃除、②利用者の車椅子の掃除など主にメンテナンス作業を中心に活動に取り組んでいます。職員や利用者の人から「ありがとう。」「ご苦勞様。」「高校生。若いなあ。」など、声をかけてもらい地域の人たちとのコミュニケーションを楽しみながら活動に励んでいます。

ホームページ



高いところも任せて

窓の掃除



利用者さん
喜んでくれるかな♪♪

車椅子の掃除

窓をピカピカにするぞ



利用者さんのために
細かいところまで



京都市大塚児童館

火曜日は『京都市大塚児童館』で活動しています。京都市大塚児童館では、①館内の掃除、②玩具の消毒、③乳幼児教室などの活動に取り組んでいます。始めは乳幼児とどのように関わったらいいのかわからず不安を抱えながらの活動でした。しかし、回数を重ねるに連れて乳幼児のことを考え、自分から工夫して関わるできるようになってきました。

ホームページ



館内の掃除

玩具の消毒



仲良しタッチ!

乳幼児教室

安全に遊んでもらうために、壊れていないかもチェックします☑



うまく乳幼児さんに関われるかな?

